

第6章 計画の推進

6.1 計画の推進体制及び進行管理

(1) 計画の推進体制

全庁を挙げた総合的な推進を図るため「葛飾区環境行動推進本部」の場において、調整を図りながら、施策やそれに基づく各種事業について検討・実施していきます。また、関係各々が協力し、庁内連携を強めながら、効率的で効果的な取組を推進していきます。

また、区民・事業者・区での連携・協働による実行を加速させるため、仕組みづくりや事業の実施にとどまらず、区民・事業者への環境情報等の提供、地域での取組に対して積極的な支援等ができるよう努めます。関連する区内の産業団体、大学、NPO 等をはじめとする各団体間で交流するためのネットワークづくりに取り組むことにより、連携・協働に向けた気運を高め、区内における環境保全活動の輪を波及させていきます。

このように「オールかつしか」による取組を推進していきます。

(2) 進行管理

本計画を実効性のあるものとするため、施策の実施状況、関連する成果指標の推移などの点検を行い、その結果に基づき、改善をしていく PDCA*のサイクルが必要です。

そこで環境基本計画の進捗管理に当たっては、本計画策定後に環境審議会を設置することを検討しています。環境審議会では、基本計画の進捗管理や見直しに関する事項、環境の保全に関する施策に関する事項等について審議すること等を検討しています。

今後も、継続的に PDCA サイクルを実施する中で、施策の進捗状況、国や都の計画策定等の動向、社会情勢の大きな変化等を踏まえ、適宜、目標及び施策の強化などの見直しを検討していきます。

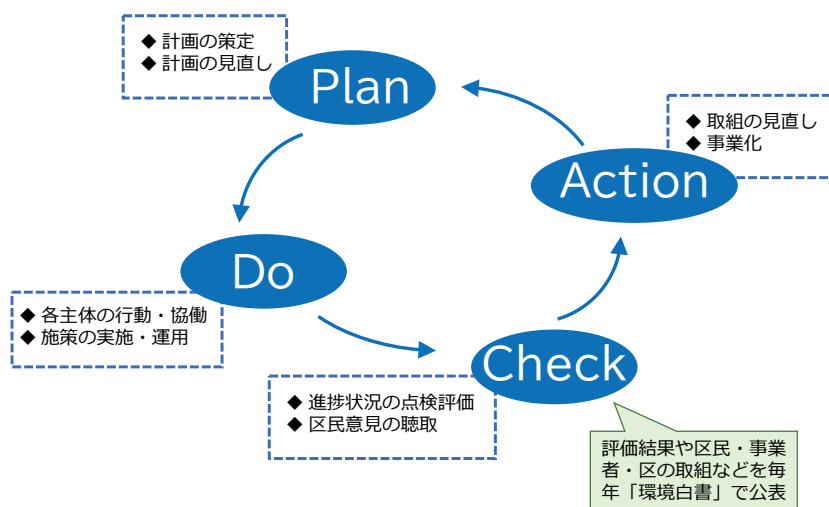


図 6.1 計画の推進体制及び進行管理方法

6.2 進捗管理指標

本計画の進行管理においては、具体的な取組やその成果を測る進捗管理指標を基本目標ごとに複数設定し、進捗状況の点検・評価のほか、事業や計画の見直しに活用します。

基本目標 1

指標	現状値 (年度)	目標値 (目標年度)
省エネを心がけている区民の割合 (%) ※1	83.2% (令和2年度)	95.2% (令和13年度)
二酸化炭素吸収量 (t-CO ₂ /年) ※2	842 t-CO ₂ (令和元年度)	1,263 t-CO ₂ 50%増加 (令和13年度)
花いっぱい活動に取り組む活動箇所数 (箇所)	150 箇所 (令和2年度)	216 箇所 (令和13年度)
「SDGs (持続可能な開発目標)」を知っている区民の割合 (%)	39.4 % (令和2年度)	100% (令和13年度)
イベント※3 来場者数 (人)	9,400 人 (令和元年度)	11,500 人 (令和13年度)

※1「葛飾区政策・施策マーケティング調査」調査報告書

※2 現状値は「低炭素まちづくり計画作成マニュアル別冊」を参考に樹木被覆地・屋上緑化面積を基に区独自で推計

※3 イベント内訳：かつしか環境・緑化フェア、ごみ減量・清掃フェアかつしか

基本目標 2

指標	現状値 (年度)	目標値 (目標年度)
区内の温室効果ガス排出量 (千 t-CO ₂) (基準年度※1からの削減率) (%)	1,463 千 t-CO ₂ 12.2% (平成30年度)	832 千 t-CO ₂ 50 % (令和12年度)
区内乗用車の登録台数に占める ZEV(EV、FCV)の割合 (%)	0.53 % (令和2年度)	10 % (令和12年度)
区内の再生可能エネルギー導入量 (kW)	26,364 kW (令和3年度)	41,475 kW (令和12年度)
区内のエネルギー消費量 (TJ) (基準年度※1からの削減率) (%)	15,240TJ 11% (平成30年度)	11,993TJ 以下 30%以上 (令和12年度)
家庭部門の温室効果ガス排出量 (基準年 度※1からの削減率) (千 t- CO ₂ 、%)	554 千 t-CO ₂ ▲14.3% (平成30年度)	323 千 t-CO ₂ 以下 ▲50%以上 (令和12年度)
業務部門の温室効果ガス排出量 (基準年 度※1からの削減率) (千 t- CO ₂ 、%)	325 千 t-CO ₂ ▲13.3% (平成30年度)	187 千 t-CO ₂ 以下 ▲50%以上 (令和12年度)
区の事務事業による温室効果ガスの総排 出量 (基準年度※1からの削減率) (CO ₂ 、%)	23,403 t- CO ₂ ▲26.3% (令和2年度)	15,877 t- CO ₂ ▲50%以上 (令和12年度)

指標	現状値 (年度)	目標値 (目標年度)
区内熱中症搬送者数(人)	223人 (令和2年度)	200人以下を維持 (令和13年度)
気候変動適応策を知っている区民の割合(%)	25.8% (令和2年度)	50% (令和13年度)
区の防災対策が進んでいると思う区民の割合(%) ^{※2}	38.5% (令和2年度)	50% (令和12年度)

※1 国の「地球温暖化対策計画」と整合を図り、削減目標の基準年度を2013(平成25)年度、目標年度を2030(令和12)年度とします。

※2 葛飾区基本計画に拠る(計画期間:令和3年度~令和12年度)

基本目標3

指標	現状値 (年度)	目標値 (目標年度)
区民一人一日当たりの家庭ごみ量 [※] (g)	495g (令和元年度)	425g (令和12年度)
事業系ごみ年間総排出量 [※] (t)	23,856t (令和元年度)	23,805t (令和12年度)
資源回収率 [※] (%)	22.1% (令和元年度)	27% (令和12年度)

※葛飾区一般廃棄物処理基本計画(第4次)に拠る(計画期間:令和3年度~令和12年度)

基本目標4

指標	現状値 (年度)	目標値 (目標年度)
自然を大切にしている行動をしている区民の割合(%) ^{※1}	72.3% (令和2年度)	86.0% (令和13年度)
生き物調査において確認した自然環境の保全率(%)	89% (令和元年度)	100% (令和13年度)
自然環境学習に参加する区民の数(人)	1,109人 (令和元年度)	1,230人 (令和13年度)
緑被率(%) ^{※2}	18.3% (平成30年度)	20.0% (令和10年度)
水辺が親しめる空間となっていると思う区民の割合(%) ^{※3}	59.7% (令和2年度)	66.4% (令和13年度)
緑と花の豊かさを感じる区民の割合(%) ^{※3}	65.5% (令和2年度)	70.3% (令和13年度)
区民一人当たりの公園面積(m ²) ^{※4}	4.36m ² (令和2年度)	4.46m ² (令和12年度)

※1「葛飾区政策・施策マーケティング調査」調査報告書

※2「葛飾区緑被率・みどり率調査」調査報告書(10年に1度実施)

※3「葛飾区政策・施策マーケティング調査」調査報告書

※4 葛飾区基本計画に拠る(計画期間:令和3年度~令和12年度)

基本目標 5

指標	現状値 (年度)	目標値 (目標年度)
大気 (NO ₂ ・SPM) の環境基準値達成状況 (測定 4 局) ※ ¹	達成 (令和 2 年度)	維持 (令和 13 年度)
大気 (Ox) の環境基準値達成状況 (測定 1 局 : 水元) ※ ²	未達成 (令和 2 年度)	達成 (令和 13 年度)
河川水質 (BOD) の環境基準達成率 (%) ※ ³	100% (令和 2 年度)	維持 (令和 13 年度)
生活環境に関する苦情件数 (件) ※ ⁴	483 件 (令和 2 年度)	173 件 (令和 13 年度)
区内がごみのない、きれいで清潔なまちになっていると思う区民の割合 (%) ※ ⁵	47.3 % (令和 2 年度)	60 % (令和 12 年度)

※¹ NO₂ (二酸化窒素)、SPM (浮遊粒子状物質)

※² Ox (光化学オキシダント)

※³ 3 河川 (江戸川・新中川・綾瀬川) の調査地点 4 か所における 環境基準値適合検体数 / 総測定検体数 (%)

※⁴ 目標値は 2019 (令和元) 年度の苦情件数 (259 件) を基準として設定

※⁵ 「葛飾区政策・施策マーケティング調査」調査報告書